ゴルフの名人

私は、或*る出版社に関係しているので、出版依頼の原稿を、いろいろな種類に亙（わた）って、一応は読まされる機会が多いのである。或る日、私の叔父*の紹介状を持った老紳士の訪問を受けた。叔父は、若い頃からアメリカで暮していた男で、アメリカ時代から、長年つき合って来た信頼する友人を紹介する、彼はゴルフの名人である、最近帰国して、ゴルフに関する本を出したい希望で、書いたものを持参するが、一読して欲しい旨（むね）、紹介状にあった。私が手紙を読み終るのを待って、客は、私の顔をまともに眺め、「そういうわけです」と一言言って、ニコリと笑った。いかにも気持のよい笑顔だったので、私の口は、直ぐほぐれた。

「貴方は、ゴルフの名人だそうで……」「ええ、叔父さんから伺ったが、貴方もゴルフをおやりだそうですね。まあ、貴方と比べれば名人でしょう。五十年もやっていますから、拙（まず）くはありません」。彼は、そう言いながら、風呂敷（ふろしき）包から、ていねいに綴（と）じた、部厚な原稿を取り出し、机の上に置いた。表紙に、「ゴルフ・ドック」と書かれている。「人間ドックという言葉がはやっておりますね。あれをもじってみたまでです。時に、貴方は、ハンディ*は幾つです」「正式に貰（もら）っていないのです。いつも仲

る友

ゴルフ7の名人である。最近帰国して、ゴルフに関する本を出したい希望で、書いたものを持参するが、一読して欲しい旨、紹介状にあった。私が手紙を読み終るのを待って、客は、私の顔をまともに眺め、「そういうわけです」と一言言って、ニコリと笑った。いかにも気持のよい笑顔だったので、私の口は、直ぐほぐれた。「貴方は、ゴルフの名人だそうで~~……~~」「ええ、叔父さんか

本文新8ポ×24行×15字×4段